

プロジェクト **ASAF 対応**項目 **2025 年 12 月 ASAF 会議における ASBJ の対応方針**

## I. 本資料の目的

1. 本資料は、本日の企業会計基準委員会（以下「当委員会」という。）においてご審議いただく事項についてご説明することを目的としている。

## II. 2025 年 12 月開催 会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) への対応

### ASAF 会議における議題

2. 2025 年 12 月 1 日及び 2 日にロンドンで開催予定の ASAF 会議では、以下の議題について議論することが予定されている。

議 題	発表者	予定 時間	参照 ページ
引当金一時的を絞った改善	IASB	90 分	2
償却原価測定	IASB	60 分	2
無形資産	IASB	90 分	3
キャッシュ・フロー計算書に関する UKEB のプロジェクト	UKEB	45 分	5
キャッシュ・フロー計算書及び関連事項	IASB	60 分	5
企業結合一開示、のれん及び減損	IASB	90 分	6
IASB の優先度決定フレームワーク	IASB	45 分	8
共通支配下の企業結合に関する OIC のプロジェクト	OIC	45 分	8
プロジェクトの近況報告と次回 ASAF 会議の議題	IASB	15 分	8

### 各議題の対応方針

3. 前項に記載した各議題への対応については、次項以降のとおりである。

**(引当金一的を絞った改善)****議題の概要**

4. 本セッションでは、2025年9月に開催されたIASBボード会議における暫定決定の内容についてASAFメンバーからのコメント及び質問を求めるとともに、賦課金に関する適用上の要求事項の考えられるアイデアについてASAFメンバーから意見を求めるとされている。

**ASAF 会議での質問事項**

5. ASAFメンバーに対する質問は、次のとおりである。
- (1) 「賦課金」に関する適用上の要求事項の考えられるアイデア—賦課金対象年度より前に取られた行動の取扱い
    - ① アジェンダ・ペーパー（以下「AP」という。）1Aの第42項から第56項に掲げられたアイデアについて、質問やコメントはあるか。
    - ② 賦課金対象年度より前に取られた行動について、適用上の要求事項のその他のアイデアはあるか。
  - (2) 「賦課金」に関する適用上の要求事項の考えられるアイデア—「賦課金」に関する適用上の要求事項についてのその他の事項
    - ① AP1Aの第57項の表に掲げられたアイデアについて、質問やコメントはあるか。
    - ② 賦課金の適用上の要求事項で他に盛り込みたい事項はあるか。
  - (3) 割引率に関する直近の暫定決定の内容

AP1Cで掲げられた2025年9月度IASBボード会議における暫定決定について、質問やコメントはあるか。

**ASBJの対応方針**

6. 本議題は、第159回ASAF対応専門委員会（2025年11月17日開催）において審議を行っており、ASAF会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において本日審議を行うことは予定していない。

**(償却原価測定)**

**議題の概要**

7. 本セッションでは、2025年9月からIASBによって議論されている、実効金利の変更及び金融商品の条件変更についてのIFRS第9号「金融商品」（以下「IFRS第9号」という。）の要求事項の潜在的な改善についてASAFメンバーの意見を求めるとされている。

**ASAF 会議での質問事項**

8. ASAFメンバーに対する質問は、次のとおりである。

**(1) 金融資産及び金融負債の実効金利の変更**

- ① IFRS第9号のB5.4.5項を適用する実効金利の改定についてのIFRS第9号の要求事項を明確化する代替案について、提案はあるか。
- ② 償却原価は現在価値又は公正価値に基づく測定ではなく、原価に基づく測定であるが、キャッチアップ調整の認識（IFRS第9号B5.4.6項）が実効金利の改定（IFRS第9号B5.4.5項）に比べてより有用な情報を提供するのほどのような場合であるか。

見解についての根拠を具体的に説明していただきたい。

**(2) 金融資産及び金融負債の条件変更**

- ① AP2のスライド23で説明されている金融資産及び金融負債の条件変更に関する要求事項の潜在的な改善へのスタッフのアプローチに関して、どのような見解を有するか。
- ② 金融資産の条件変更の理由（例えば、信用リスクの悪化なのか、商業上の再交渉なのか）は、金融商品の条件変更が認識の中止につながるかを評価する際に考慮すべき重要な要因であるか。もしそうであれば、この要因を考慮することは予想信用損失に関する要求事項とどのように相互作用するか。

見解についての根拠を具体的に説明していただきたい。

**ASBJの対応方針**

9. 本議題は、第246回金融商品専門委員会（2025年11月19日開催）において審議を行う予定であり、ASAF会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において本日審議を行うことは予定していない。

**(無形資産)**

### 議題の概要

10. 本セッションの焦点は、IASB の無形資産のプロジェクトにおける初期的な作業の流れの 2 つ目の流れである財務諸表利用者の情報ニーズであるとされ、IASB の関心は、次のことについて ASAF メンバーの法域で聞かれている意見にあるとされている。

- (1) 認識済みの無形資産及び未認識の無形資産並びにそれらに関連する支出に関する財務諸表利用者の情報ニーズ（特に、セクターや無形資産の種類によってそれらのニーズが異なるかどうか、またその差異のあり方）
- (2) 新種の無形資産及びその新たな使用方法に関連する特定の情報ニーズ

### ASAF 会議での質問事項

11. ASAF メンバーに対する質問は、次のとおりである。

- (1) ASAF メンバーの法域では財務諸表利用者が述べる無形資産についての年次報告書の情報量に、セクター別又は無形資産の種類別に顕著な差異はあるか。もしある場合、財務諸表利用者が最も満足している又はしていないセクター及び無形資産の種類は何か、またその理由は何か。
- (2) 企業が現在提供している情報に関する IASB スタッフの初期的な調査結果は、ASAF メンバーの法域における財務諸表利用者の経験と合致するか。企業の無形資産に関する活動を理解し評価するために必要な情報源はどこか。財務諸表は、現在、財務諸表利用者が必要とする情報を提供するためにどのような役割を果たしているか。
- (3) ASAF メンバーの法域における財務諸表利用者にとって分析を著しく妨げる情報の不足がある場合、無形資産に関して不足している情報は何か。財務諸表利用者は、財務諸表における無形資産（認識済み及び未認識）に関する情報の有用性を向上させるために IASB は何をできるかについて、提案をしているか。例えば次のようなことができるか。
  - ① より分解された情報（必要な場合その理由）
  - ② 利用者がより情報を求めている無形資産に関連する支出及びその理由
  - ③ 財務諸表において不足している企業の価値創出にどのように無形資産が貢献しているかを理解するために必要な他の情報
- (4) 財務諸表に、分析に役に立たない情報、又は財務諸表利用者が無視している情報はあるか（例えば、資産化された開発費と研究費の区別は、有益か、役に立たないか、

ほとんど関心を持たれていないか)。

- (5) ASAF メンバーの法域において企業が提供するクラウド・コンピューティング契約、アジャイルソフトウェア開発、AI、データ資源のような新種の無形資産及びそれらの新しい使用方法に関する情報には、重大な不備を財務諸表利用者は識別しているか。重大な不備がある場合、IASB は財務諸表における新種の無形資産に関する情報の有用性を向上させるために、どのような措置を講じることができるか。

#### **ASBJ の対応方針**

12. 本議題は、第 159 回 ASAF 対応専門委員会（2025 年 11 月 17 日開催）において審議を行っており、ASAF 会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において本日審議を行うことは予定していない。

#### **(キャッシュ・フロー計算書に関する UKEB のプロジェクト)**

##### **議題の概要**

13. 本セッションでは、英国エンドースメント審議会 (UKEB) がキャッシュ・フロー計算書に関するプロジェクトの結果を共有するとされている。

#### **ASAF 会議での質問事項**

14. ASAF メンバーに対する質問は、次のとおりである。
- (1) UKEB のリサーチ結果についてコメントはあるか。
  - (2) UKEB のリサーチ結果に共感するか。
  - (3) ASAF メンバーの法域においてリサーチ結果と矛盾する重要な調査結果があるか。

#### **ASBJ の対応方針**

15. 本議題は、第 73 回ディスクロージャー専門委員会（2025 年 11 月 17 日開催）において審議を行っており、ASAF 会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において本日審議を行うことは予定していない。

#### **(キャッシュ・フロー計算書及び関連事項)**

##### **議題の概要**

16. 本セッションでは、キャッシュ・フロー指標についての情報の透明性の改善に関するアップデートを提供し、財務諸表における非資金取引及びその他の非資金変動に関する情

報の改善に対する IASB スタッフのアプローチに関して ASAF メンバーの意見を求めるとされている。

### ASAF 会議での質問事項

17. ASAF メンバーに対する質問は、次のとおりである。

(1) 経営者が定義した業績指標（以下「MPM」という。）の開示要求の拡張

- ① IFRS 第 18 号「財務諸表における表示及び開示」（以下「IFRS 第 18 号」という。）の MPM に関する要求事項をキャッシュ・フロー指標にも適用するよう拡張するために議論されたアプローチについて、コメント又は質問はあるか。
- ② IFRS 第 18 号の MPM に関する要求事項をキャッシュ・フロー指標にも適用するよう拡張する場合、見落としている事項又は検討することが重要であると考えられる事項はあるか。

(2) 非資金取引及びその他の残高変動に対するアプローチ

- ① AP5 スライド 14 から 16 に列挙した事項について、質問又はコメントはあるか。解決することが特に困難と考える事項及びその理由
- ② 考え得る要求事項を開発する場合、AP5 スライド 14 から 16 では識別されていないが、検討することが重要であると考えられる事項の有無
- ③ ASAF メンバーの法域において、現在から 2026 年第 1 四半期までにこれらの事項について IASB と協議する意思がありかつ可能である企業及び投資家（又はそのようなグループ）の識別可能性

### ASBJ の対応方針

18. 本議題は、第 73 回ディスクロージャー専門委員会（2025 年 11 月 17 日開催）において審議を行っており、ASAF 会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において本日審議を行うことは予定していない。

### **（企業結合－開示、のれん及び減損）**

#### 議題の概要

19. 本セッションでは、企業結合の業績及び期待されるシナジーに関する情報を含むさまざまなトピックに関する代替的アプローチを検討するために、ASAF メンバーからの意見を求めるとされている。

### ASAF 会議での質問事項

20. ASAF メンバーに対する質問は、次のとおりである。

(1) 企業結合の業績が目標を満たしつつあるかについての記述

企業結合の実際の業績が目標を満たしつつある又は満たしているかどうかの記述の便益は、その開示を要求するコストを上回るか。

回答の理由を説明されたい。我々は、この記述が利用者にとってどのように有用か、監査人にとってどれほど検証が困難かに関するフィードバックに特に関心がある。

(2) 期待されるシナジーに関する情報を開示する対象の企業結合

① 企業が期待されるシナジーに関する情報を開示する対象は、のれんを認識した企業結合に限定することでよいか。我々は、のれんの認識に至らない企業結合に対して、どのくらいの頻度でシナジーを期待するかについてのフィードバックに関心がある。

② 期待されるシナジーに関する情報の開示を、重要性のある企業結合のすべてに求めるべきか、それとも、戦略的な企業結合に限定することでよいか。

③ 期待されるシナジーに関する情報について、個別に重要性のない企業結合に関して合算して開示を要求すべきか。合算された情報に含める企業結合は、企業結合の価格に合意した際に当該情報を考慮した企業結合に限定する。

回答の理由を説明されたい。我々は、これらの情報が利用者にとってどのように有用かに関するフィードバックに関心がある。

(3) 業績及び期待されるシナジーに関する情報の作成基礎

次について、作成基礎の開示を要求する便益がコストを上回るか。

① 業績に関する情報

② 期待されるシナジーに関する情報

回答の理由を説明されたい。我々は、これらの情報を提供するコストの可能性に関するフィードバックに特に関心がある。

### ASBJ の対応方針

21. 本議題は、第 159 回 ASAF 対応専門委員会（2025 年 11 月 17 日開催）において審議を行っ

ており、ASAF 会議では同専門委員会の審議を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において本日審議を行うことは予定していない。

### **(IASB の優先度決定フレームワーク)**

#### 議題の概要

22. 本セッションでは、IASB の優先度決定フレームワークの概要を紹介するとされている。

#### ASBJ の対応方針

23. 本日は、本議題の概要を説明し、ASBJ 事務局の気付事項についてご意見を伺いたい（審議事項(3)-2）。

### **(共通支配下の企業結合に関する OIC のプロジェクト)**

#### 議題の概要

24. 本セッションでは、イタリア会計基準設定主体（OIC）が共通支配下の企業結合に関するプロジェクトの結果を共有するとされている。

#### ASBJ の対応方針

25. 本議題については、ASAF 会議の審議の状況を踏まえて適宜対応する予定である。そのため、当委員会において本日審議を行うことは予定していない。

### **(プロジェクトの近況報告と次回 ASAF 会議の議題)**

26. 2026 年 3 月 30 日及び 31 日に開催予定の ASAF 会議では、以下の議題が提案されている。

#### (1) 引当金一時的を絞った改善

2026 年 2 月までの IASB による暫定的決定について ASAF メンバーからのコメント及び質問を求めるとされている。現在の義務の認識規準及び引当金を測定する際に含めるべきコストが議題に含まれる可能性が高いとされている。

#### (2) キャッシュ・フロー計算書及び関連事項

非資金取引に関する情報の改善並びに営業、投資及び財務としてキャッシュ・フローを分類する要求事項の一貫した適用の改善を含むさまざまなトピックへの代替的アプローチについて ASAF メンバーの意見を求めるとされている。

#### (3) 持分法

公開草案における具体的な提案について、ASAF メンバーの意見を求めるとされている。

(4) IFRS 第 16 号「リース」の適用後レビュー

情報要請「IFRS 第 16 号『リース』の適用後レビュー」に対するフィードバックの要約及び 2026 年 3 月までの IASB の暫定的決定について、ASAF メンバーからのコメント及び質問を求めるとされている。

以 上